

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『身近に使われている税』

町田市立南大谷中学校 3学年 梅木 花音

私は、「税の作文」を作る時、どんなことを書いていいのか、正直全く思い浮かびませんでした。「税」と言っても自分に関わっている税は消費税くらいしか思い浮かばず、買い物時に余計に支払うもの、というイメージしかありませんでした。

そこで私は、どのようなことに税金が使われているのか両親に聞いてみました。すると両親は、数年前に広がった通学路の歩道の工事に税金が使われているということを教えてくれました。

その道は歩道が狭く、人とすれ違う時にぶつかりそうになったり、車が歩行者によって通りづらそうにしているのを見たことがあります。しかし、道路工事がされたことによって、今ではすれ違う時にぶつかりそうになることも少なくなり、より安全になったと感じています。私たち中学生だけでなく隣の小学校に通う子供たちや近所の方も通る道なので、多くの人にとって便利、そして安全になったのでよかったなと思っています。

私はこのことをきっかけに、税金の他の使い道について調べてみました。調べてみると、税金は私たちが安全に道路を渡るのに

欠かせない信号機や横断歩道の設置、高齢者への年金やデイサービス、子育てするために必要なものの支援、ごみの収集などに使われていることがわかりました。

特に、自分にとってつながっているなと感じたのは、学校にある楽器の購入には税金が使われているということです。私は吹奏楽部に所属していて、毎日楽しく活動しています。吹奏楽部では、トランペットやサクソフ、クラリネットなど多くの楽器を使い、それらがないと部活ができません。今部活でたくさんの楽器を使えているのは税金のおかげです。そのことに感謝をして、これから部活に取り組みもうと思いました。また、私が卒業した後の中学生もこの楽器を使うということを考えると、楽器を大切に使わなければならないと改めて感じました。他にも、音楽室にはピアノや琴、ギターがあります。特に、ギターについては授業で一人一台使用することが出来ます。私は音楽が大好きなので、授業でたくさん楽器を使うことができてとても楽しいです。

私は毎日楽しく学校で授業を受けて、部活に取り組みんでいます。また家に帰った後も、おいしいご飯を食べて、ゆっくり休むことができています。私がこうした充実した生活を送れているのは、税金の支えがあるからです。便利で豊かな生活を支える身近な存在である税金、私はその大切さをこの作文を通して感じることができました。